

2019.12.18

(第3種郵便物認可)

# ただいま 雑記



549



たといえば 男は アホ  
ウドリ  
たといえば 女は 忘れ  
貝……

(作詞作曲 桜井順『黒  
の舟歌』)

いやはや、アホウドリ  
と忘れ貝でやっている世  
の中だからなんですか  
ね、決して忘れてはなら  
ない事件が歴史からどん  
どん抜け落ちていくのは。  
今年(第22回)の日本  
自費出版文化賞 大賞を  
授賞した『NO NUK  
ESーピキーの海は忘れ  
ないー』は、そんな世の  
中に流されまいとするひ  
とびとの作品だ。

NO NUKES(核  
はイヤ、核いらない)と  
聞いて思い出すのはなん  
だろう? 近くはフクシ  
マのゲンパツ事故。海を  
渡ってチエルノブイリの  
ゲンパツ事故。遠くはヒ

## 知ってほしいピキニ事件

中山千夏

ロシマ ナガサキが受け  
たゲンバク。そのへんま  
でひらめけば忘れ貝とし  
ては上等だろう。

そうだ、米国によるピ  
キニ環礁での水爆実験も  
あった。その影響でピキ  
ニ環礁 帯は死の地と化  
した。そして周辺で働い  
ていた日本の漁船の乗組  
員たちも大きな被害を受  
けた。当時、ひとびとは恐  
怖をもって盛んにこれを  
話題にし、「死の灰」を浴  
びたその漁船の名「第五  
福竜丸」は子どもでも覚  
えたものだ。そこまで思  
い出せたら、アホウドリ  
も自分を褒めていい。

でも、被害は福竜丸だ  
けではない、ほかに数百  
を超す漁船、2万を超す  
乗組員が死の灰を浴び、  
多くが病名もわからぬ病  
にかかり、クニの助けも  
ないまま死んでいった、  
という事実はどうだろ  
う。少なくともこの忘れ  
貝はさっぱり忘れてい  
た。この事実をひとびと  
が忘れ去るよう努力して  
きたクニにとっては、忘  
れ貝こそよい国民に違  
ないのだが。

1951年生まれの高  
知人である岡村啓佐さん  
は、高知にも多くいる忘

れられたピキニ被爆者の  
ひとりと出会い、その話  
を聞いたことから、彼ら  
の姿と証言を記録し世に  
知らしめる活動を始め  
た。仲間もつって、写  
真 証言集の出版やあち  
こちに展示することを続  
けた。

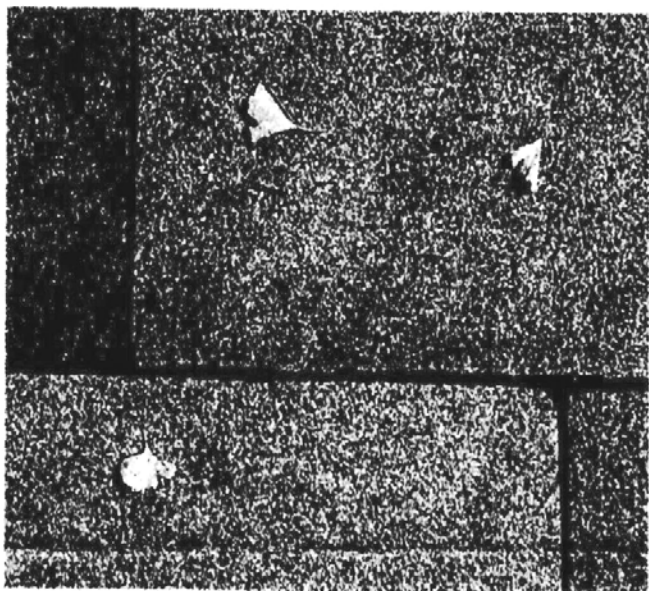
クニが福竜丸以外の船  
の被爆状況については、資  
料を開示したのは、やっ  
と2014年になってか  
らだ。うんと遅まきなが  
ら、自分たちの被害の正  
体を知ることができた被  
害者やその遺族は、20  
16年、クニを相手に損  
害賠償訴訟を起こした。

そのニュー  
スでようや  
く私たちに  
も、ピキニ  
環礁水爆実  
験(195  
4年)の本  
当の被害の  
大きさを、  
知るチャン  
スがおとず  
れたわけ  
だ。

それでも  
この被害、  
この裁判を  
知るひと、  
覚えるひと

はまだまだ少ない。だか  
ら昨年、岡村さんたちは  
新たに被災者50人の写真  
証言集を世に問うた。  
今回、受賞したのがそ  
れだ。「受賞はうれしい。  
ただ出版してから1年も  
たたないうちに証言者の  
4人が亡くなった。それ  
が悔しい」と岡村さんは  
言っている。

選考委員の一員たる私  
としては、授賞が、ピキ  
ニ事件をみんなが正しく  
覚える足しに少しでもな  
れば本望だ。(この本の  
問い合わせ先 0881  
87511275 平和  
資料館草の家)



落ち葉(東京駅前で 12月15日筆者写す)